

## 児童デイサービスすきつが美瑛2nd 提出6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対応
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・定員に対し十分なスペースが確保されている。整理整頓をし安心して過ごせるスペースを維持していく。	今後も定員に対して、安心して過ごせるスペースを維持できるよう努めていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			・配置基準を満たしている。また配置基準に加えて1名多く配置している。	全体のバランスを考え、子ども達にとってより良い療育を行う為の人事異動は行っていきつつ、誰がどこに異動となっても良い支援が行えるように努めていく。また人員配置は今後も適切な人数を配置していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			・部屋と部屋の境目に段差があるが、スタッフが声をかけて気付ける子達なので、一言声かけをして配慮している。また現状必要がない為、必要に応じて協議する。	子どもたちが安全で安心して利用できる事業所づくりを創造していくと共に、子ども達への声掛けなどの配慮を継続していく。また安易なバリアフリー化は、子どものスキルを低下させてしまう恐れがあるので必要に応じて協議する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			・毎月行う施設内研修、朝、昼のミーティングの時間に情報交換を行っていくと共に、何かある時はすぐに施設長へ伝える事を徹底していく。	自身の業務の目標設定と振り返りをより綿密に行ない、支援に反映できるように努めていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	100%			・保護者向け評価表の結果を踏まえ、全職員で話し合い、改善に努めている。 ・改善に日々努めている。話し合いや確認、情報共有している。 ・評価表の結果を踏まえ、話し合いの場を設け改善に努めている。	今後も保護者様の意向を把握し、改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・評価表の結果とその対応を、玄関の掲示と、保護者様へ周知のうえホームページでの公表を行っている。	今後も公表を行っていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	・重要事項説明書にも記載してあるが、第三者による外部評価を行っていない。	必要性を感じた際には検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・毎月職員研修を行い人材育成に努め取り組んでいる。	今後も施設内研修を実施し人材育成に取り組んでいく。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・面談等で保護者のニーズや子供の課題を考慮して作成している。またモニタリング会議にてスタッフ全体で子どもに対して、どのような支援が必要か模索している。 ・アセスメントシートに子供の様子を全職員が書き込むなど参画している。	今後も日々子どもの様子を検証し、保護者のニーズや子どもの課題を考慮して作成していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			・法人として統一された物を使用している。	今後も法人で統一した方法で整備していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・全員で話し合って活動内容を立案している。	今後も全員で立案を行なう事で、様々なプログラムが提供できるように努めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・極力曜日固定を行わない事で、利用児が様々な活動に参加出来るよう配慮しているが、状況などにより一部活動は固定している場合もある。	今後も固定化しないよう活動内容を模索していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・長期休暇には登校日には難しい活動等も取り入れていく。昨年の評価表にしたがい今年は細かくスケジュールを設定し支援をしている。	今後も状況に適したプログラムを設定していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・子どもの状況などに合わせ、集団活動の中で個別活動を適宜配慮して行っている。	個別の支援や学習支援は行う予定はないが、今後もお子さま個人の課題に沿った計画をたて、対応していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・朝会と昼会にて打ち合わせを行い、当日の支援内容や役割分担について確認をしているが、内容が薄い。	朝会は必ず行い、業務内容の確認や事故防止に努めていく。また提供する活動内容は必ず提供日前日までに内容を確認していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・気づいた点等は、その日のうちに施設長に報告を行い、翌日の朝会にて取り上げ共有している。また当日の打ち合わせは難しい場合は施設長やその場にいる職員には速やかに伝え、翌日の朝会にて全体共有している。	今後も、報連相を意識し業務に活かしていけるように努めていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・ケース記録は毎日作成しているが、内容が薄い事もある。	支援の検証・改善につなげていけるよう、個人スキルを向上させ更に精度を上げていく。また朝会での発表等でまとめる力を磨いていく。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・子ども1人に対し、半年以内でモニタリング会議を開催し、職員全員で意見を出し合い、計画見直しの必要性を判断している。	今後も継続していく。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%			・組み合わせで行っている。今後もガイドラインに沿った活動の組み合わせを行っていく。	今後も継続していく。	
関係機関 や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			・管理者または児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も情報共有を行い、子どもの支援につなげられるよう努めていく。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・送迎時に様子を引き継ぎ、保護者様の同意を頂けた場合には必要に応じて電話や面談等を通し共通理解ができるよう努めている。	今後も保護者様からの依頼や同意のもと行っていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		100%		・医療的ケアが必要な子どもは、現在受け入れていない為該当しない。	看護師がいらない為受け入れは難しいが、必要に応じて協議していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			・そのケースが無い。	保護者様からの依頼があった場合は検討していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			・そのケースが無い。	保護者様からの依頼があった場合は対応していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			・年に一回美瑛町の児童発達支援センターが行う研修に、日程が合えば参加している。	必要に応じて連携を取り助言や研修を受けていく。

の連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			・スキー級別テスト、外出支援等で関わる機会がある。また旭川小学生Tボール選手権大会でも少年団との交流があった。しかし児童館等との交流は嫌がる利用児もいる為、考えていない。Tボールやスキー支援を通して行っている。	引き続き、このような活動をより多く発信していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			100%	・施設長が、美瑛町の要請により参加している。	今後も要請に応じて参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・保護者へは送迎時や連絡ノート、必要性があれば電話連絡を行い、その日の子どもの様子を伝えている。今後はLINEも使用して共通理解を図っていく。	今後も情報交換を行い共通理解に努めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			・安易な対応やアドバイスはトラブルに繋がる為、児発管や施設長が必要に応じて個別に行っている ・施設長に確認や指示を受け対応する場合もあるが自分勝手な対応はしない。	保護者様に寄り添い、知識を深めてサポートできるよう、スタッフの研修や指導を重ねていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・ご契約時において、施設パンフレット・相談受付・アセスメントシートに基づきご利用にあたっての説明をさせていただいている。必要に応じて面談時などに説明を行う。	今後も必要に応じて、面談時や通信・書面などで分かりやすく発信していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・保護者様からご相談を受けた際は、安易に言葉を返さない様、丁寧な対応を心掛けている。	今後も、必要に応じて助言を行い、保護者様に寄り添い、相談しやすい関係を構築していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・野球紅白戦や練習試合を公開していることで保護者様同士のかかわりが生まれるよう配慮している。	今後も情勢を踏まえた上でイベントを開催し、保護者様同士の交流が生まれるよう計画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・苦情処理委員会を設置している。	苦情が発生した場合は「苦情解決処理体制及び手順」に基づき、敏速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・毎月通信及び号外等を必要に応じて発行し、すきっぷでの様子をお伝えしている	今後も保護者様に喜んで頂けるような通信を発行していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			・「個人情報利用の目的」に従いがい、お取り扱いには細心の注意をしている。不要のデータや使用済みの書類などは施設内でシュレッダーにかける等の処理を行うとともに、職員規定により職員が施設外にデータを持ち出すことなども禁じている。	今後も研修などを重ね、より一層セキュリティ強化に努めていく。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・子ども達へは視覚提示を取り入れ意思の疎通を図っている。・言葉に気を付け、相手に誤解が内容日々意識している。	特に重要な詳細については、必要に応じて、連絡ノートへの記載やご自宅訪問・電話連やSNSを利用して情報を伝達していき今後も関係構築に努めていく。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			・個人情報、プライバシーの保護などの点やセキュリティの問題から地域住民を招待する活動は考えていない。地域貢献活動や作品展は今後も継続していく。	事業所の解放や不特定の住民を招待するということに関しては今後も行う予定はないが、作品展や地域貢献活動は継続していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			・毎年4月の通信発送時に緊急時対応マニュアルを再配布する。今後も変更等が出た場合など敏速に情報公開していく。	今後も変更等が出た場合などは敏速に情報公開していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・年3回(3月地震、6月火災、11月噴火)の避難訓練を行っている。また8月に防犯訓練も行っている。	今後も継続して取り組んで行く。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			・3か月に1度虐待防止のための研修を行っている。全職員に周知徹底していき、内容はレポートで提出している。	研修を重ね、適切な対応ができる様、継続し取り組んで行く。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・契約時や必要に応じて面談時等に説明している。また、個別支援計画特記事項にも記載している。法人として2・5・8・11月に“虐待防止・身体拘束廃止委員会”を開催しており、内容を事業所内にも周知している。	研修を重ね、適切な対応ができる様、継続し取り組んで行く。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			・医師の指示書は確認していないが、契約時のフェイスシートにてアレルギーの有無を確認し対応している。活動内容に応じて再度聞き取り等もしている。	継続し取り組んで行く。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・事故・ヒヤリハット報告書をその都度作成し法人で共有改善に取り組んでいる。	職員が自発的に提出しやすいよう環境を整備していく。今後も共有し、同じ失敗を繰り返さないよう努めていく。	